



九州大学

第2回市民講座

「健康寿命を延ばすための食生活」

第1部 (30分)

「健康を維持するためのサプリメントの上手な利用法」

現在、健康をサポートする目的で様々なサプリメントが販売されています。本講演では、サプリメントの種類・特徴とその利用の仕方について解説します。

講師：九州大学 大学院農学研究院 食品免疫機能分析学寄附講座
准教授 宮崎 義之氏

第2部 (70分)

「農産物の有する機能性と味 ～苦味を制する者は健康を制する?～」

健康の維持には積極的な野菜(農産物)の摂取が必要とされています。しかしながら、農産物の味はあまり一般的には受け入れられていません。その傾向は特に子供達には顕著です。本講演では、健康に生き抜く上で農産物の摂取がなぜ求められるのか、そしてその味の鍵を握る「苦味」について、脳と腸とのクロストーク(会話)の観点からお話しします。健康的な食生活を実践するヒントを学んでみませんか?

講師：高知大学 理事・副学長 受田 浩之氏

■講師紹介

◇高知大学 理事・副学長 受田 浩之氏

1982年に九州大学農学部食糧化学工学科卒業。1984年に九州大学大学院 修士課程修了後、九州大学農学部助手を経て、1991年に高知大学農学部助教授に就任。2004年同教授に昇任後、2005年から国際・地域連携センター長を兼務。2019年から理事・副学長。大学勤務の傍ら、地域振興事業にも深く関わり、高知県産業振興計画フォローアップ委員会委員長等に就任して、高知県の産業振興に大きな役割を果たしている。また、国の事業でも重要な役割を担っており、現在は内閣府消費者委員会委員長代理・同新開発食品調査部会及び食品表示部会の部会長、文科省科学技術・学術審議会大学研究力強化委員会委員等を務める。日本カツオ学会の副会長、高知カツオ県民会議会長代理でもある。著書に「新時代LX - 持続可能な地域の未来を切り拓く(南の風社、2021年10月)」がある。

◇九州大学 大学院農学研究院 食品免疫機能分析学寄附講座 准教授 宮崎 義之氏

九州大学大学院農学研究院で博士号取得後、同大医学部研究員、佐賀大学医学部助教。2016年から九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門准教授。



日 時：2022年6月1日(水) 14:00~16:30 (13:30開場)

場 所：九州大学 西新プラザ(福岡市早良区西新2-16-23) 大会議室AB

TEL: 092-831-8104

定 員：100名 先着順・入場無料

主 催：九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門 食品免疫機能分析学寄附講座

申込方法：メール・FAXに郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記載し、申込先宛にお申し込みください。同伴者がいる場合は人数及び同伴者氏名を明記してください。

申 込 先：九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門 食品免疫機能分析学寄附講座

E-Mail: kouza2022@agr.kyushu-u.ac.jp

FAX: 092-802-4778